

農林水産部長との懇談時(令和4年11月)要望事項

岡山県森林土木建設協会

区分	要 望 事 項	回 答	備 考
高梁 支部	<p>1 担い手の確保に関すること</p> <p>三か年限定で実施した「森林土木施工技術向上対策委託事業」も今年度をもって終了します。</p> <p>しかしながら、熟練技術者が在職している間になかなか新規雇用が難しいため、熟練技能者からの技の伝承が困難である現状に鑑み、森林土木に新規就業する技術者に対し、技能を修得することが出来る研修を県において実施していただきたい。</p>	<p>これまで実施してきた3年間の研修会では、森林土木特有の工事内容について参加者の多くが興味深く受講されていたほか、質疑応答や意見交換も活発に行われるなど大変有意義なものであったため、特殊な技術と経験を必要とする森林土木工事の施工技術向上をさらに図るためにも、来年度も研修会を実施する方向で検討してまいりたい。</p>	
津山 支部	<p>2 設計・積算に関すること</p> <p>谷止工や治山ダム、擁壁の中に設置される暗渠管などは材料費のみの計上となっていることがありますが、実際には通常の設置をする場合より労務費や材料費が掛かっています。</p> <p><具体的な対策></p> <p>谷止工や治山ダム、擁壁の中に設置される暗渠管などの新たな歩掛が必要であると思われます。</p>	<p>谷止工等に使用している暗渠管(水抜穴)についてはヒューム管を使用しているところですが、軽量で加工しやすい材料(塩化ビニール管等)に変えることで設置手間の負担が軽減できないか、現在、他県の状況などを調査しているところですので御理解をお願いします。</p> <p>なお、擁壁に設置する暗渠管(水抜きパイプ)については、森林整備保全事業標準歩掛に基づき積算しているところですので、御理解をお願いします。</p>	
和気 支部	<p>3 その他事業に関すること</p> <p>農林関係部署もICTに積極的に取り組んで頂きたい。</p>	<p>ICT施工の推進については今後必要なものと認識しており、現在実施中の土木部の試行の状況や他県の動向も見ながら引き続き検討してまいりたい。</p>	